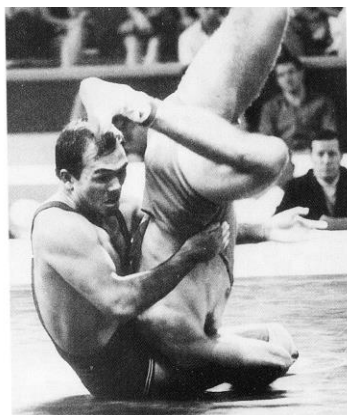


祝 開校記念日 5月27日

これまでの歴史において、 活躍された先輩方

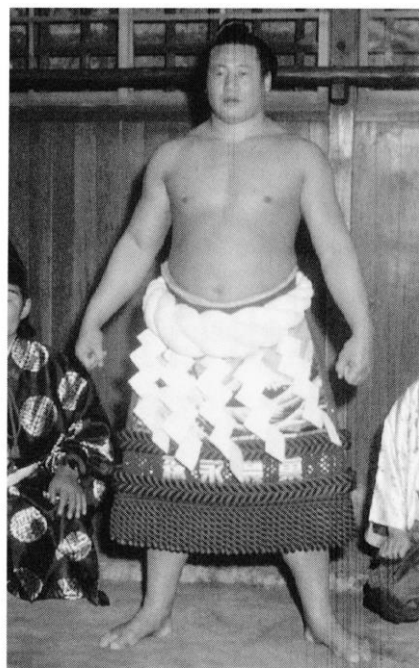
第1回卒業生 川野俊一氏
ローマ・東京・メキシコオリンピック出場(レスリング)
日本レスリング界で初めてオリンピック連続3回出場

(略)出来たての高校と言っても校舎は無く、魚目中学校を借りての授業、まして運動施設も部もなく、少し残念でしたが親の側でのんびりと高校生活を過ごしました。新校舎の建設時も生徒動員で瓦運びの手伝いや、作業の手伝いをさせられ、今思えば貴重な経験であり、そこで多くのことも学んだと思います。まさに終戦後、復興中の学校作りだったと思います。勿論、運動部も無い、指導者もいない、しかし、手をこまねいていても何も出来ないと、柔道部を作り持てるエネルギーをそこへぶつけたという青春の思いでもあります。



オリンピックメキシコ大会出場 (S43 川野俊一氏提供)

第2回卒業生 市川晋松氏
50代横綱(佐田の山関)



横綱時代

(略)私が現役時代に心構えとして目指したことを箇条書きでご紹介いたします。

- (1) 積極的に前向きに努力する。前へ前へ。
- (2) 人が十番稽古したら自分は二十番する。
- (3) 人が朝5時に起きたら自分は4時に起きて稽古する。
- (4) 決められたことをいわれただけでやっていたのでは進歩がない。
- (5) 夢を持ち、実現する努力をする。
- (6) 感動すること。
- (7) 好奇心を旺盛に。
- (8) 感謝の心を持つこと。
- (9) 自分自身を鍛えて磨く。
- (10) 克己心
- (11) 大勢の人と交わり研鑽し合う。

以上参考になれば幸いです。
※平成29年4月27日御逝去。御冥福をお祈りします。

第39回卒業生 田端健児氏
アトランタ・シドニーオリンピック出場



シドニーオリンピック出場

(略)在学した3年間の思い出の中で一番印象に残っていることは、3年間続けてきた陸上競技でインターハイ2位、国体で優勝したことです。今、思い返せばランキングトップでインターハイに望んだが力及ばず2位という結果に終わってしまったことを悔しく思い、次は必ず優勝してやるという気持ちで自分を奮い立たせ挑んだ国体では、念願の全国制覇を成し遂げることができました。目標に向かって最大の努力をすれば達成できることと勝ったという喜びを同じに味わうことができたからこそ今の自分が在るのだと思います。(略)

**昭和59年 NHK杯
硬式野球部優勝**



離島に初めて優勝旗

平成13年 県高総体 柔道女子 団体優勝



悲願の初優勝の瞬間

(略)私はもともとそれほど負けず嫌いというわけではなく、負けても「仕方がないや」という気持ちになる方でした。しかし、一生懸命、嫌というほど練習をしていると、「これだけ練習したのに負けたくない」という思いが強くなり、試合で負けるたびに「次は絶対勝つ」という気持ちになり、さらに練習に励むようになりました。(略)

「部活動で学んだこと」

第47回卒業生 近藤優子さん

各部活動の受賞歴

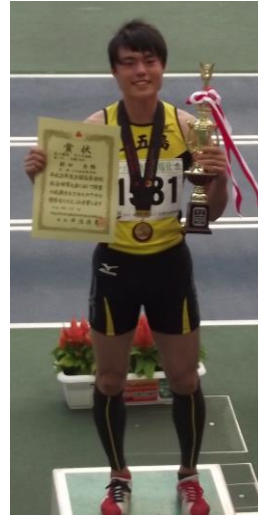
平成18年 陸上800m
九州大会優勝



平成23年 NHK杯放送コンテスト
全国大会 第4位



平成25年 陸上走り幅跳び
全国高総体優勝



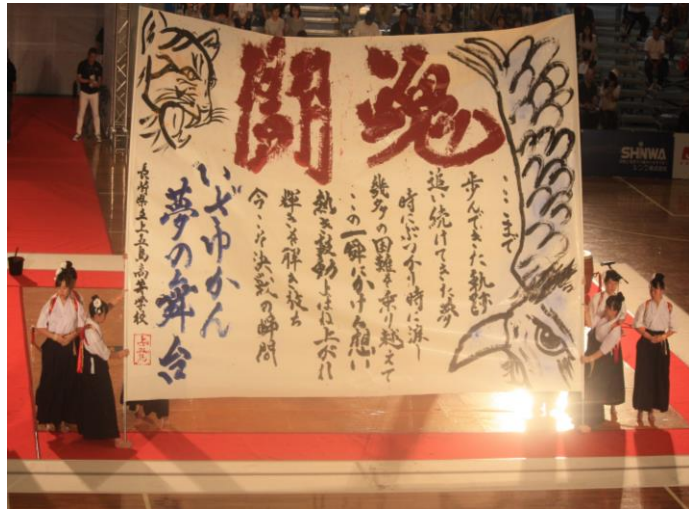
平成25年 全国総文祭
アナウンス部門 優秀賞



平成30年・令和元年 NHK杯放送コンテスト
全国大会 出場



平成28年~30年
全国高等学校書道パフォーマンスコンテスト 出場



電気情報科の受賞歴

平成12年 県高校
ロボットコンクール
「黒潮3号」優勝

(略) 僕達はロボット製作を通してたくさんの技術や知識を得ることが出来た。製作には7ヶ月の月日を費やし、しかも毎日が深夜に及んだ。本当に工作が好きで、絶対に勝ちたいという気持ちが強かったからこそ、それを苦痛と感じなかったのだと思う。僕たちは勝つための討論はしたが喧嘩はしなかった。なぜならば、4人は常によりロボットを作りたいという共通した考えを持っていたからだ。製作技術も大切であるが、目的を強く持つこととチームワークの大切さも改めて勉強させられた。黒潮3号は僕たちに良き夢を与え、生涯忘れられないすばらしい思い出を残してくれた。「黒潮3号」第47回卒業生 小田久紀さん

平成23年 県高校ものづくり大会
電気工事部門 優勝



平成24年 若年者ものづくり競技大会
電気工事職種 特別賞



本校は来年で創立70周年を迎えます。この学校の伝統と、未来を考える1日にしましょう。